

1. 事業の位置付け

事務事業名	歩道設置事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
予算科目	01-080203-030000	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	02	②〈住みごこち〉 人にやさしい居住空間をつくる	
	02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
歩道を整備することにより、歩行者に対する安全の確保及び車両通行の円滑化が図られています。		歩行者に対する安全の確保や車両通行の円滑化のため、主要幹線道路に歩道を新設します。また、段差のない歩道にします。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	用地買収面積						単位	m ²
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			148	1,082	1,120			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	3箇年の用地買収進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19年度：用地買収6%、H20年度：用地買収46%、H21年度：用地買収・歩道整備48%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			6	52	100			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
浅間町・南原線の用地買収及び物件移転補償、及び寺田縄・飯島線の測量調査委託を行うことにより、歩行者に対する安全の確保及び車両通行の円滑化に向けた事業進捗をはかった。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	歩道を整備することで安全性が保たれ、快適な生活環境が図れることから、必要性は高い。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	歩行者に対する安全の確保や、車両の通行の円滑化が図れ、有効性は高い。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	安全で快適な生活環境の確保には歩車道分離が有効であり、妥当性は高い。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	交通量の多い幹線道路に歩道を設置することにより交通の円滑化と安全性が確保され、交通体系の効率化が高まる。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 歩道設置工事箇所を設定し、計画的に用地買収を行う。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				用地買収	用地買収	用地買収・歩道整備		
財源内訳	国庫支出金	0	0	39,676	53,520	65,065	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	14,300	20,000	113,400	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	65,791	68,108	28,707	0	0
事業費 (A)		0	0	119,767	141,628	207,172	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	131.35				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	1.05	1.10	1.10	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	8,811	9,231	9,231	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	128,578	150,859	216,403	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 引き続き浅間町・南原線、寺田縄・飯島線、吉沢土屋線の用地買収を進めながら、並行して歩道整備工事を行う。	
平成21年度取組方針	
効率的に用地買収を進めたい。(国庫補助事業として実施)	
課長コメント	歩道整備は、歩行者の安全確保や交通の円滑化のため、必要不可欠な事業であるが、用地買収や工事に相当な費用がかかるため、今後も国庫補助事業として計画的に進めていきたい。